レジメン名：ビロイ+XELOX 療法　　胃がん

催吐リスク：高度

処方：1 クール　3 週間

＜点滴＞　末梢静脈内注射

Day1

① アロキシ注　0.75m g
　デカドロン注　9.9m g
　ポララミン注　5m g
　生食　100mL　30 分

② 生食　50mL　フラッシュ用　5 分くらい

③ ビロイ点滴静注　800mg/㎡（2 クール目以降は 600mg/㎡）
　注射用水（ビロイ溶解用 1V あたり 5mL）　必要量
　生理食塩水（ビロイの溶解濃度が 2mg/mL になるよう設定）　必要量
　1 ｸｰﾙ目：50mL/hr→100mL/hr→200mL/hr（30 分おきに速度を上げる）
　2 ｸｰﾙ目以降：38mL/hr→75mL/hr→150mL/hr（30 分おきに速度を上げる）
　※インラインフィルター必要・調製後 12 時間以内に投与終了する。
　※副作用発現時、投与中断する。
　※悪心・嘔吐の場合、減速して投与再開可。

④ 生食　50mL　フラッシュ用　5 分くらい

⑤ 5%ブドウ糖　250mL
　オキサリプラチン(ｴﾙﾌﾟﾗｯﾄ)　130mg/㎡　2 時間

⑥ 生食　50mL　フラッシュ用　10 分くらい

＜点滴＞　Vポート静脈内抗癌剤持続注入

Day1

①　生食　20mL　1 本　穿刺用

②　アロキシ注　0.75m g
　デカドロン注　9.9m g
　ポララミン注　5m g
　生食　100mL　30 分

③ 生食　50mL　フラッシュ用　5 分くらい

④ ビロイ点滴静注　800mg/㎡（2 クール目以降は 600mg/㎡）
　注射用水（ビロイ溶解用 1V あたり 5mL）　必要量
　生理食塩水（ビロイの溶解濃度が 2mg/mL になるよう設定）　必要量

1 ｸｰﾙ目：50mL/hr→100mL/hr→200mL/hr（30 分おきに速度を上げる）
2 ｸｰﾙ目以降：38mL/hr→75mL/hr→150mL/hr（30 分おきに速度を上げる）
※インラインフィルター必要・調製後 12 時間以内に投与終了する。
※副作用発現時、投与中断する。
※悪心・嘔吐の場合、減速して投与再開可。

⑤ 生食　50mL　フラッシュ用　5 分くらい

⑥ 5%ブドウ糖　250mL
オキサリプラチン(ｴﾙﾌﾟﾗｯﾄ)　130mg/㎡　2 時間

⑦ 生食　50mL　フラッシュ用　10 分くらい

〈内服〉
Day1-14
① カペシタビン（ｾﾞﾛｰﾀﾞ）　2000mg/㎡　分 2 朝夕　14 日間
Day1　夕-Day15 朝　内服
Day15 夕-Day22 朝　休薬

Day1
① アプレピタント(ｲﾒﾝﾄﾞ)　125mg　抗がん剤投与 60-90 分前

Day2･3
② アプレピタント(ｲﾒﾝﾄﾞ)　80mg　分 1　朝
③ デキサメタゾン（ﾃﾞｶﾄﾞﾛﾝ）　8mg　分 2　朝昼